

～～第8751回～～

播隆祭・槍ヶ岳

～R1. 9. 6-8

今年のコースは、昨年大雨で断念した西鎌尾根コース。天候は3日間とも快晴に恵まれ、昨年のリベンジは十二分に果たせた素晴らしい播隆祭・槍ヶ岳行事であった。ただし、批判を承知で書かせていただければ、個人的にはメンバーに迷惑をかけてしまう反省多き山歩きであった。9/6 前夜出発、途中道の駅風穴の里で仮眠後、早朝新穂高ロープウェイ駅前へ。快晴の朝、ひんやりとした空気に包まれて出発。小池新道登山口までは林道歩き。ここから登山道へ入り、秩父沢出合へ。その後、いくつもの沢を越えて、イタドリヶ原、シシウドヶ原と登って行く。気温が上がり、きつい陽ざしを浴びて、徐々に疲労が蓄積していき足取りが重くなる。昼食は鏡平山荘前で摂る。疲労が高じているのか、多くのメンバーが食欲がなさそう。出発すると弓折乗越への急登が待っている。その登りに差し掛かったところで、足の太もも・ふくらはぎに激痛が走る。いわゆる“こむら返り”。芍薬甘草湯を飲んではいたが、晴天・気温上昇により汗での水分発散多く脱水症状気味。しかも昨夜はバス内での仮眠。睡眠不足も重なり発症となった模様。何とか乗越まで登り切り、そこでの休憩時にメンバーが荷物を代わりに持ってきて負荷を軽減してくれた。その後は双六小屋までの尾根歩き。時々睡魔が襲ってくるなか、何とか歩きとおすことができた。夏山研修会における「登山中の水分補給」について、1時間に最低130CC(体重60kg、7時間行動の場合)の水分を摂ることとある。当然発汗作用は、気温、登山ルートなどで変わるので、今日のコース・気温では不足していたかと反省。

コースタイム：新穂高 615…わさび平小屋 730…小池新道登山口 750…秩父沢出合 905…シシウドヶ原 1040…鏡平 1200-30…弓折乗越 1340…双六小屋 1520

9/7 小屋前からの朝日が美しい。いよいよ槍ヶ岳へ出発。西鎌尾根歩きは下調べした限りかなりハードなコース。強い陽ざしの中、気温も上昇。体力消耗をできるだけ抑えながらゆっくりとしたペースで登って行く。まずは縦沢岳への登り。朝のうちは気温がさほど高くなく快適な山歩きができる。縦沢岳から先は、硫黄乗越、左俣岳、左俣乗越、その先の千丈乗越とアップダウンを繰り返しながら進んで行く。千丈乗越を過ぎると、いよいよ槍ヶ岳へのガレ場の急な登り。槍の穂先が徐々に近づく。そのうちに目の前にそびえ立つともうそこは槍ヶ岳山荘直下。こちら側から見る小槍を従えた姿は、岩が林立しており荒々しい。一旦小屋内で休憩、昼食を食べてから槍の穂先へ出発する。大勢の登山客が穂先へのルートに取りついている。上り下り別ルート的一方通行。狭い山頂に立ったら最低限の記念撮影をして、いわゆるトコロテン式に押し出されて下山していくことになる。山頂ではメンバー全員揃っての記念撮影。またとない360度の大眺望にメンバー一同大感激。後ろ髪惹かれながらもすぐに下山してくる。山荘テラスでは、眺望を楽しみながら快適な時間を過ごす。夜の播隆祭に備えて、昨夜に引きつづいて“槍

ヶ岳の歌”を練習する。16:30 から夕食。そして 19:00 ら播隆祭が始まる。前方播隆隊近くに特別の席を設けていただいていた。昨夜の槍沢ロッジでの前夜祭では、ワングルメンバーがいなかったので玄向寺副住職自ら歌の指導をされたとのこと。この副住職の講話、さらには播隆上人による槍ヶ岳開山、第 41 回目を迎えた播隆祭の歴史などの興味深い話を聞くことができた。いよいよ出番の歌の時間・・・と意気込んでいると、残念ながら時間切れ。歌の披露はお預けとなってしまう。夜は満天の星空であった。

コースタイム：双六小屋 600…樫沢岳 645…硫黄乗越 735…左俣乗越 830…千丈乗越 1010…槍ヶ岳山荘 1150-1230…槍ヶ岳 1300…槍ヶ岳山荘 1330

9/8 山荘前から見事なご来光を望むことができた。今日も快晴、下山中も暑くなりそうだ。宿泊していた登山客が続々と下山していく。その間をぬって我々も下山開始。殺生ヒュッテ分岐を過ぎてしばらく下ると、播隆祭でも話が出た播隆窟へ。休憩もほどほどにして先を急ぐ。天狗原分岐、大曲、そしてババ平キャンプ場へ。槍沢ロッジ近く広場からは、二日にわたって堪能した槍ヶ岳の雄姿を仰ぎ見ることができた。二ノ俣、一ノ俣の橋を通過し、横尾に到着。これから先は樹林帯の中の道歩き。徳沢で昼食。徳沢を過ぎてしばらく行くと、サルの大群が出迎え。親ザル、子ザル、そして生まれて間もない赤ん坊ザルも親の背中にしがみついている。30 頭以上はいそうな大群だが、彼らも慣れたもの、なにくわぬ顔してすれ違っていく。陽ざしはますます強くなる。疲労が増し足が痛くなってくる中、黙々と足を前に出して先を急ぐ。河童橋からの吊り尾根、穂高連峰の大パノラマも最後に堪能することができた。上高地バスターミナルではマイクロバスが待機してくれていて、待つことなく乗車して出発。途中、「竜島温泉せせらぎの湯」で3日間の汗を流して静岡へ向かう。3日間で歩いた距離約 38km と強歩大会に匹敵する長さ。快晴が続き、またとない満足度の高い播隆祭・槍ヶ岳であった。

コースタイム：槍ヶ岳山荘 550…播隆窟 635…天狗原分岐 730…ババ平 835-50…槍沢ロッジ 915…一ノ俣 940…横尾 1045…徳沢 1145-1210…明神 1300…上高地 1400=静岡 1930

参加者：11 名（静岡北 5、静岡東 1、静岡南 2、磐田 1、他 2）

天気：快晴

地図：上高地・穂高岳・槍ヶ岳

記録：静岡北支部 MK



西鎌尾根コースの登り



槍ヶ岳山頂



槍ヶ岳と播竜窟



播隆祭のワングル